

日々の田高（看護・医療系進学ガイダンス）

3月13日の放課後の時間に、1・2年生の看護・医療系進学を希望する生徒を対象としたガイダンスを行いました。

関心がある生徒たちが集まり、看護・医療系予備校の校長先生のお話真剣に耳を傾けていました。

まず、チーム医療が推進されている話から、どのような職業があり、医療行為の中で担う領域や特徴を調べるなど、職業理解を進めることが大切であるというお話がありました。私たちが、生活で触れる職業以外にも、医療を支える職業は数多くありそれらを研究しておくことは、とても大切なお話でした。

次に、卒業後を見据え、各学校の強みを踏まえた学校選びをするための視点のお話がありました。大学と専門学校が中心に据えることの違い、国公立大学と私立大学の強みの違いなどの説明です。

そして、今後のスケジュールに関するお話です。ゴールを目指して、早いうちから一步一步進めることがとても大切です。生徒たちは、真剣に聞き、メモをとっていました。

最後に、進路指導部から看護師・薬剤師国家試験の大学別の合格率に関する資料と看護学部を例にして、難易度別の大学ごとの入試状況（学部の入学定員、実際の入学者数、一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜の受験者数、合格者数）を比較したデータを配布して、

昨年看護学部をめぐる入試の実態について補足の説明がありました。

生徒だけでなく保護者の方の参加もあり、今後の受験に向けて、ガイダンス終了後も講師の先生に熱心に質問する姿が見られました。



【予備校講師による進路ガイダンス】



【進路指導部による入試状況の補足説明】